

## 安城市 図書館教育部会 研修会報告

安城市の図書館教育部会では、毎年、市内の図書館主任と学校司書が集まって研修を行っています。今年度は、小グループでの協議を中心に各校の実践紹介や情報交換などを行いました。

### 1 研究テーマ

「豊かな心と自ら学ぶ力をはぐくむ学校図書館 ～図書館連携教育を通して～」

### 2 研究協議

#### (1) グループ協議 「年間を見通した図書館教育について」

グループ協議では、校種や学年ごとに分かれたグループで国語科の授業での学校図書館や市図書館、学校司書の活用について実践を報告し合い、その後、意見交換を行いました。新たな視点として他教科での実践例も紹介されました。

#### (2) 全体発表

グループ協議で出た意見や図書館主任、学校司書が感じていることについて発表を行いました。

- 読み聞かせを行っている学校が多い。ボランティアさんをお願いしている学校や図書委員が行っている学校など各校の実態に合わせて活動をしている。
- 年度初めにオリエンテーションを行い、学校図書館の使い方や資料の活用などについて指導を行っている。
- 単元が物語のときは、導入時の読み聞かせや書籍としての作品の紹介、教科書に記載されている書籍の紹介などで学校図書館と学校司書を活用している。
- 単元が説明文のときは、調べ学習で学校図書館や市の図書館、学校司書を活用している。学校司書に依頼して、学校図書館の蔵書から資料を選定してもらったり、市の図書館が提供するテーマ便を活用して資料を取り寄せたりしている。学校司書は児童・生徒の実態に応じて資料を選定している。
- 学校司書はどのように教員に関わるか授業に入るか、難しいと感じている人が多い。教員も学校司書にどこまでお願いしてもよいのか分からず、互いに遠慮してなかなか授業で学校司書を活用することができていない。教員は年間指導計画で学校図書館を活用できる単元を示し、どの単元で授業に入ってほしいのかを依頼しておく。学校司書は事前に読み聞かせや資料の選定など、どんな業務ができるのかを教員に示しておくことで互いに依頼しやすくするのではないかな。

#### (3) 参加者の感想

- ・他校の実践が分かり、勉強になった。担当学年ごとのグループになっていたのも、具体的な授業の活動について知ることができた。
- ・今回の協議グループでは国語科の実践例だけであったが、他の協議グループで協議された他教科でどのように学校図書館を活用しているのかも知りたくなった。